

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース



No. 43 2017年6月22日

最終号

大田区西蒲田6-34-7
☎ 3736-1494
fax3735-4522

絶対に負けるわけにはいかない

政治活動は初心者であった私が、都政の問題をいくつも学びました。「共産党の政策がいかに生活者の目線で検討されているか」を深く実感したと同時に、自民・公明・維新がどれだけ金権腐敗政治を推し進めてきていたか、まざまざと感じてまいりました。トライアスロンの試合では「勝利」にこだわったことがありませんでしたが、この闘いだけは絶対に負けるわけにはいきません。自公政治でこれ以上苦しむ人を増やさないためにも、何としても大田から2人を、都政に押し上げてください！

2017年6月21日

藤田りょうこ

藤田りょうこ、必ず都政へ
駆けあがる決意で連日奮闘！



雨中の街宣に出演（18日）



藤田りょうこ、奮闘ドキュメント

16日（金）午後、参院神奈川選挙区
予定候補のあさか由香さんが応援に。
あさかさん曰く、「私、藤田さんとしや
べり方が似ていると言われているの
と。（写真左から2枚目）

18日（日）「藤田りょうこ・対話する
街かど」第4弾「ピクニック・ト
ーク」が西蒲田公園で。藤田りょうこ
さんを囲んで、子育て中のママさん
たちが、不安や夢をわいわい語り合
いました。（写真上）

18日（日）午後、都議予定候補による
「社会保障をテーマとした公開討論
会」に出席。藤田さんは大田区で起
きた園児死亡事故を取り上げ、規制
緩和は問題と指摘しました。

19日（月）矢口渡商店街で女性後援会
がねり歩き宣伝。藤田さんは握手ぜ
めにあい、なかなか行進が進まない
にぎわいでした。（写真左）

編集後記

本ニュースは昨年8月30日に
第1号を発行して以来、毎週欠か
さず、本号で最終号（No.43）を迎
えました。発行継続の原動力はな
んといっても、藤田りょうこさん
のエネルギーで気さくな人柄
と、毎回読んで面白く、今の藤田
りょうこさんを形成した42年に
わたる「成長記」にあります。

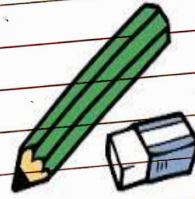
本番を迎えた今、藤田りょうこ
さんと佐藤伸さんをなんとしても
都政へ押しあげる決意をもって最
終号とします。

かあちゃんへ、おしごとがんばってね

かあちゃんへ
おしごとがんばってね
おうちにかえったら
びっくりパーティー
ひらくからね。

ともやすより
ゆうさくから。
かあちゃん がんばってね。

ゆうさくより。
ゆうきから。
かあちゃん すきだよ♡☆



(ともやす君の直筆)

ゆうきより

応援メッセージの最終を飾るにふさわしく、藤田りょうこさんの3人のお子さんが登場してくれました。ご長男のともやす君（7歳）が自身と、弟のゆうき君とゆうさく君の言葉を代筆したものです。お母さんの翻訳(?)を添えます。

左からともやす君、りょうこさん、ゆうき君、ゆうさく君。今年一月水上スキー場にて



かあちゃんへ
おしごと がんばってね。
おうちにかえったら
びっくりパーティー
ひらくからね。
ともやすより

ゆうさくから。
かあちゃん がんばってね。
ゆうさくより。

ゆうきから。
かあちゃん すきだよ。♡ ☆
ゆうきより

(お母さんによる翻訳)

藤田りょうこ成長記 ④3

仕事、子育て 40代編 藤田りょうこ 最終回



2016年参院選の応援で。山添拓参院候補（現参院議員）の右が私

都政に必ず駆け上がる決意固める

私たちが汗水流して納めた税金で、家族旅行をしたり、公用車をプライベートに使っていたりした知事が、共産党の追及と都民の批判を浴びて昨年6月に辞職しました。都議の欠員があった大田区は同時に補欠選挙が行われることになり、急ぎよ、人手が足りない病棟を去ることになりました。

職場の仲間には申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、政治をよくできるなら労働条件の改善に

もつながら、という思いで候補者活動を開始しました。

そして参院選で本格化した「野党は共闘」の流れは、都議補欠選挙でも野党共同の機運を高め、共産党は大田区で民進党の候補者を応援することに決定。残念ながら結果は僅差で自民が当選。

この夏、燃えるような決意で2017年都政改革に向け、新たな活動のスタートを切りました。

(42歳)